

やま い 山に行こう！

やまのぼり (E サ)

さとう わきこ／さく・え
ふくいんかんしよてん
福音館書店



ばばばあちゃんがやまのぼりのじゅんぴをしていると、もりのみんなも山に行こうとあつまってきました。みんなはたくさんのもつをもってきましたが、これではとても山にはのぼれません。すると、ばばばあちゃんはいいいことを思いつきます。

くろべ たに ちい やまごや 黒部の谷の小さな山小屋 (E ホ)

ほしの ひでき しやしん ぶん
星野 秀樹／写真・文 アリス館

とやまけんの山おくにある「黒部の谷」には、夏になるとくさんの人が山のぼりにやってきます。その人たちをむかえる山小屋は、毎年冬のまえにしまつて、夏にたてなおされます。冬は雪で小屋がつぶれてしまうからです。そんな山小屋のようすをのぞいてみましょう。きびしくつつかしいせんと生きる人たちにせまった写真絵本です。

シェルパのポルパ エベレストにのぼる (E ナ)

いしかわ なおき ぶん なしき よう え いわなみしよてん
石川 直樹／文 梨木 羊／絵 岩波書店



せかいいち高い山、エベレストのふもとにすむポルパのゆめは、エベレストにのぼること。エベレストにのぼるのはむずかしいので、とくべつなれんしゅうがひつようです。さて、ポルパはいよいよエベレストにのぼることになりました。

た。エベレストではどんなことがまっているのでしょうか？

山に住むシェルパの人たちの生活を知ることができる一冊です。

やりが たけさんちよう 槍ヶ岳山頂 (E カ)

かわばた まこと さく しゅつばん
川端 誠／作 BL出版

槍ヶ岳は北アルプスにある、日本で5ばんめに高い山。小学5年生の「ぼく」とお父さんは、長い道のりを歩いて、この槍ヶ岳にのぼります。とちゆうでけわしい道があったり、雨がふったりして思うようにすまないことも。やがて、いっしょうけんめい歩いた先に見えたのは…。

かざん 火山とくらす (E ミ)

いぐち まさと かんしゅう みやたけ たけひと しやしん ぶん
井口 正人／監修 宮武 健仁／写真・文 くもん出版

日本にはたくさんの火山があります。火山のそばでくらすと、火山からけむりがでて灰がふってきたり、石がとんでくる場合があります。そのために、町のなかにはいろいろなくふうがされています。でも、困ったことばかりではありません。火山を利用したくらしについても知ることができますよ。

やま ひつじ ぼくとお山と羊のセーター (E イ)

いいの かずよし さく かいせいしや
飯野 和好／作 偕成社

山にかこまれた家に住んでいる小学生の「ぼく」。学校からかえると、家にかかっている羊のせわをしています。ほかにも、家では牛やにわとり、それに糸をつくれるかいこをそだてていて、とてもにぎやか。ある日「ぼく」は、かりとった羊の毛を使って、セーターを作ってもらうことになりました。作者の子どものころのことをえがいた絵本です。

ふじさんにつぼんいち (291 フ)

ひさかたチャイルド

日本ではいちばん高い山、ふじさん。でもふじさんのすごいところは、それだけではありません。この本では、ふじさんのいろいろなすがたを写真で楽しむことができます。時間や見ばしよによってどんなふうにかわるか、ぜひたしかめて下さいね。



やま エマおばあちゃん、山をいく (E サ)

ジェニファー・サームズ／作,

まつむら ゆりこ／訳 廣済堂あかつき

アメリカに住む67歳のエマおばあちゃんは、3500キロもある長い山道をひとりて旅することにしました。3500キロというと、日本の北のはしから南はしまでくらのきよりです。エマおばあちゃんは、ぶじさいごまでたどりつけるのでしょうか。実話をもとにつくられた絵本です。

やま 山はしっている (E ジ)

リビー・ウォルデン／作,

リチャード・ジョーンズ／絵,

よこやま かずえ やく すずきしゅつばん
横山 和江／訳 鈴木出版



山にはいろいろな生きものがくらししています。朝がくると、早おきの鳥たちが目をさまし、ほかのどうぶつたちも朝ごはんをさがします。そして昼、どうぶつたちはのんびりくつろいで…。山の1日をすてきなことばと絵でかたります。